

クローズアップ



縄文の丘 三内まほろばパーク 「縄文時遊館」新展示収蔵施設

建物外観

橋 詰 裕 基

(Hiroki Hashizume)

三菱電機株式会社 東北支社

ビルシステム部

工 藤 聡 志

(Satoshi Kudo)

青森三菱電機機器販売株式会社

青森支店

1. はじめに

日本最大の縄文集落「三内丸山遺跡」の広大な遺跡ゾーンの一部に、周辺と溶け込むように配置された三内まほろばパーク縄文時遊館が竣工したのは、2002年11月。約16年の間、ビジターセンターとして、時空を越えた出会いと交流をテーマに、当時の生活や文化が体感できるギャラリーや体験工房など、レクリエーションの中に知的興奮の要素を組み込み、大人から子供まで多くの人々に親しまれてきました。

一方で時を経る中で、重要文化財をはじめとする出土物を展示、収蔵するスペースが手狭になってきました。そこで展示、収蔵スペースの拡張に加え将来の世界文化遺産登録を見据えた文化庁の基準をクリアすることを目指し、既存建物に新展示収蔵施設が増築されました。建物外観は周辺に溶け込むようにデザインされ、建物内の吹き抜け空間は、出土した縄文土器のかけら5120個がかりばめられた「ビッグウォール」と名づけられた巨大壁を、自然光が差し込む気持ちの良い環境の中で楽しめるよう配慮されています。

2. 建物概要

所在地：青森県青森市大字三内宇丸山 215外 363筆

建築主：青森県東青地域県民局

設計・監理：株式会社 梓設計

施工：藤本・今・大阪特定建設工事共同体

建築用途：博物館

敷地面積：377,733.32㎡

建築面積：1,771.27㎡

延床面積：3,037.41㎡

構造：RC造、一部S造

階床数：既存地上2階、地下1階

建屋高、軒高：8.912m

工期：平成28年10月～平成30年3月

竣工：平成30年10月

開業：平成31年4月

3. 昇降機設備

昇降機設備は、来客者用エレベーターと、展示品や収蔵品を搬送するバックヤード用エレベーターの2台が設置されています。

来客者用エレベーターの昇降路は、B1と1階をつなぐ吹き抜け空間を取り囲むコンクリート柱に差し込まれたガラス板により構成され、ガラスの直方体が吹き抜け空間を縦に貫いて見えるようになっています。エレベーターは、かごの昇降が乗場から認識できるガラス昇降路であること及び車椅子が回転しないで出入り可能な2停止、二方向出入口であることの2点の条件を加味した必要最低限の機能を満足させるシンプルなデザインにしています。

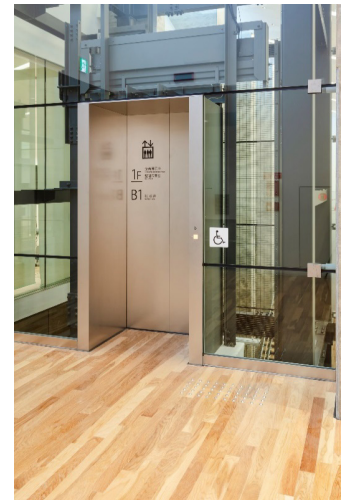
かご内は、天井、壁にガラスとステンレスを用い装飾性を抑え、かご室の床は建築と同じフローリング材を貼ることにより、かごの外と一体感を与えています。

利用者に対しては、乗場呼びによる行先階自動登録機能や一般用と車いす用兼用の操作盤及び壁に多用したガラスによって利便性と開放感を与えるエレベーターとなっています。

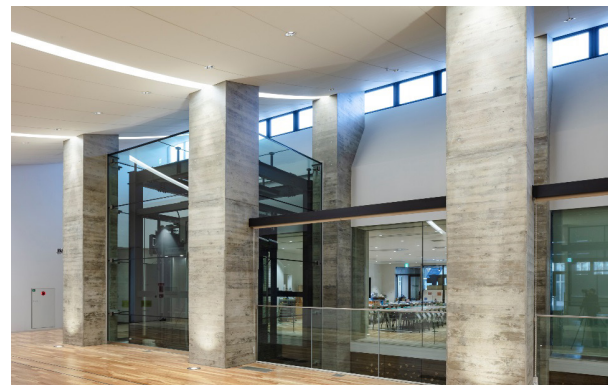
クローズアップ



乗用エレベーター 昇降路外観①



乗用エレベーター1F乗場



乗用エレベーター 昇降路外観②



乗用エレベーター かご室正面



乗用エレベーター かご室側面



乗用エレベーター
一般用・車いす用兼用操作盤

エレベーター仕様 (計2台)

号機	用途	制御方式	運転方式	積載質量 (kg)	定員 (名)	速度 (m/min)	台数 (台)	停止階床数 (サービス階)	メーカー	備考
1	乗用	インバーター	乗合全自動方式	1250	19	45	1	2 (正面: B1、背面: 1)	三菱	展望用、車いす仕様、2方向出入口
2	人荷用	〃	乗合全自動方式	2000	30	45	1	2 (B1、1)		